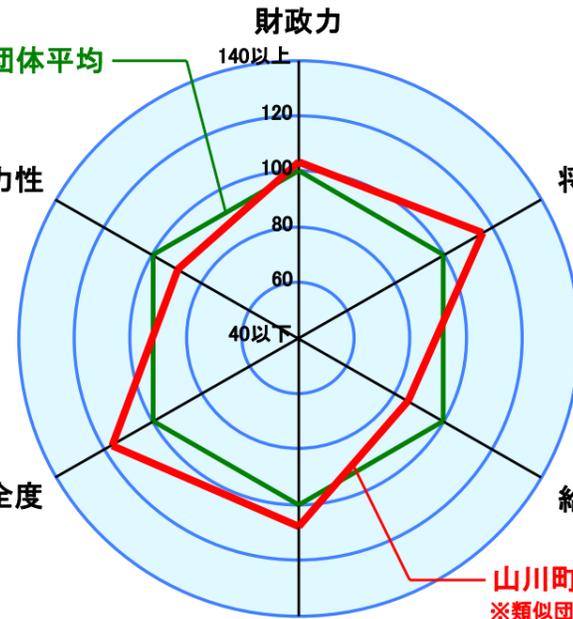


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

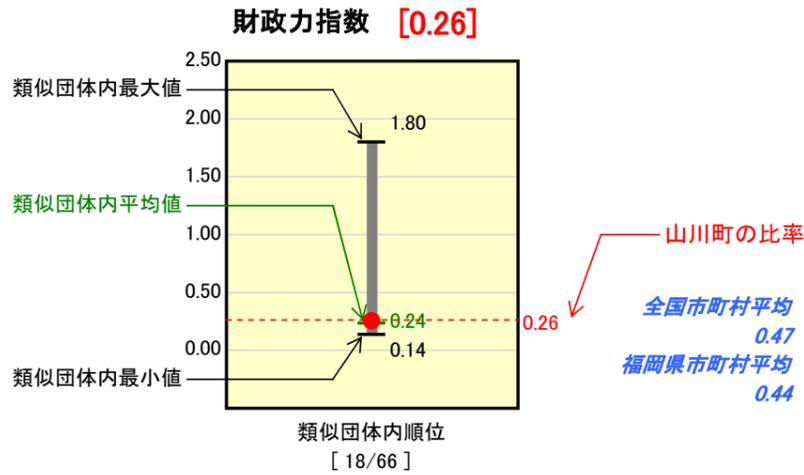
福岡県 山川町

人口	5,655 人(H17.3.31現在)
面積	26.38 km ²
歳入総額	2,866,726 千円
歳出総額	2,762,983 千円
実質収支	102,453 千円

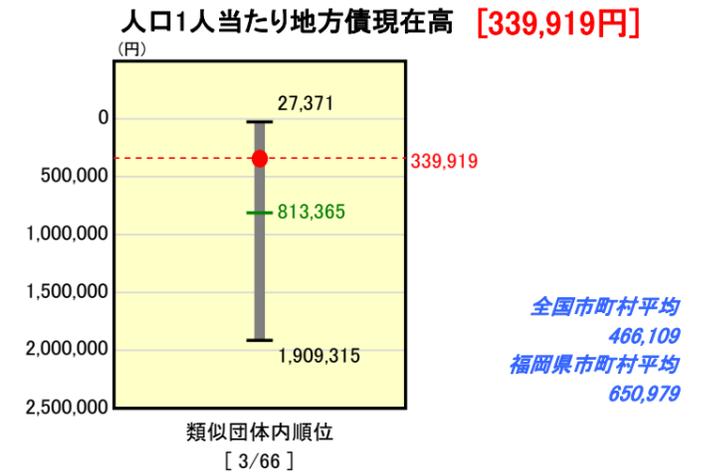


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

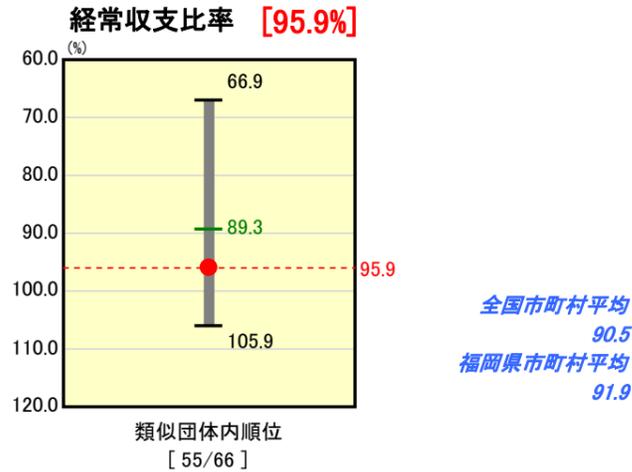
財政力



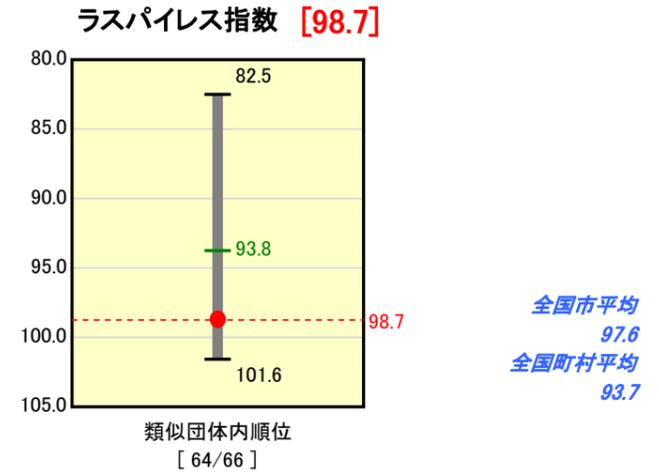
将来負担の健全度



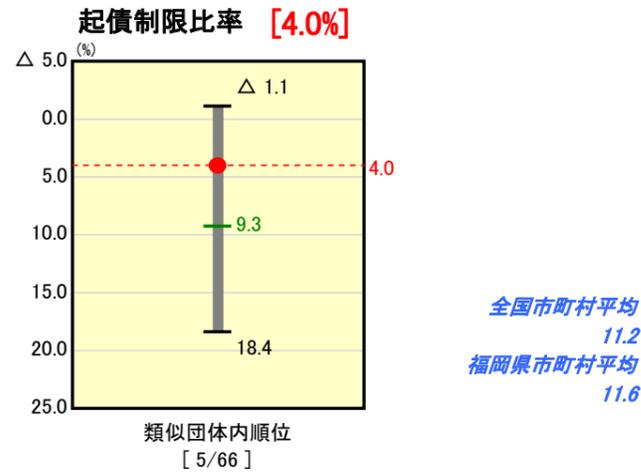
財政構造の弾力性



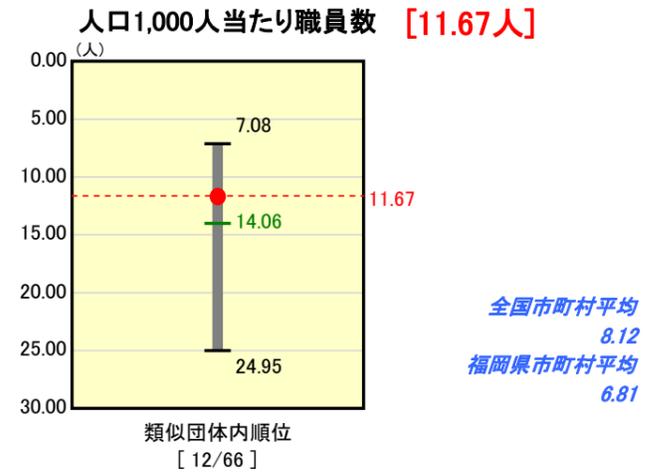
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

- 財政力指数
類団平均はやや上回っているものの、基幹産業である第一次産業の低迷から安定した財政基盤とは言い難い状況にある。企業誘致や産業振興に努め、安定した財政基盤を実現していく。
- 経常収支比率
類団平均を上回っているが、ここ数年地方交付税の減、並びに扶助費の増加により上昇傾向にあり、弾力性に乏しい状況である。懸念される公債費については低推移であるため、効率的な行財政運営に努め、現在の水準を維持する。
- 起債制限比率
ここ数年の状況を見ても、類団平均、全国平均を大きく下回る値で推移している。引き続き、健全な財政運営に努める。
- 人口1人当たり地方債現在高
類団平均、全国平均を大きく下回っており、将来世代への不平等な負担は生じていないといえる。しかしながら、一般財源に占める地方債現在高の割合は約1.2倍となっているため、引き続き適正な財政運営に努める。
- ラスパイレス指数
日当のカットなど各種手当の見直しを行なった結果、100はきっているものの類団平均から見るとやや上回っている。引き続き、あるべき給与水準の姿を検討し、運営に努める。
- 人口1,000人当たり職員数
小規模自治体であるため、市町村平均で見ると値が上回っているが、類団比較すると1,000人当たり約3人の職員が少ないといえる。来年予定している市町村合併も鑑み、長期的な定員管理に努める。